

今こそ、 学校保健委員会

学校保健活動は、極めて内容が多岐にわたり、多くの人々の協力を得ながら展開される教育活動です。

取組にあたっては、学校医、学校歯科医、学校薬剤師のみならず、地域の保健所、医療機関、研究機関などの協力を得なければ効果が上がりにくいものがあります。このような学校保健活動の特質から考えると、それに携わっている人々の共通理解を図り、共通の目標に向かって有機的な連携による、組織的な活動が必要になってきます。

その中核となるのが学校保健委員会です。

保健主事は、学校保健委員会が円滑に展開されるようリーダーシップを発揮し、企画・調整することが期待されています。

保健主事のあなたへ

- ① 保健主事のあなたが学校保健委員会の必要性を認識していますか？
- ② 教務主任、学年主任、養護教諭等、相談できる組織や協力者と力を合わせましょう。
- ③ 常に校長と、「報告・連絡・相談」をしながら進めましょう。
- ④ 企画委員会や職員会議等で、全教職員の共通理解を図りましょう。
- ⑤ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方、PTA（保護者）、専門家等と協力をしましょう。
- ⑥ 開催後はしっかりと評価をしましょう。

（財団法人 日本学校保健会「学校保健活動推進マニュアル」を参考）

学校保健委員会開催の手順

（文部科学省「保健主事のための実務ハンドブック」より）

情報収集と開催方針の決定

- 開催に向けて、方針・手順等を管理職に相談する。
- 収集した情報（児童の健康課題等）から、保健部会等の校内の組織で、開催に向けて構想等を検討する。

実施計画や運営案の作成

- 学校保健目標を達成するため、どのような学校保健委員会を開催すべきかを検討する。（時期・開催回数など）
- どのようなテーマで、どのような内容にするかなどについて準備や運営の仕方を計画する。

開催に向けての準備

- 学校三師やPTAの役員との日程調整を行う。
- 事前に参加者にテーマや運営案を知らせておく。
- 欠席される方の意見を事前に聴取しておく。
- 資料の内容を精選し、配布物等の準備をする。
- 話合いの流れや資料の活用方法、結果をどのような取組につなげていくかなど校内組織（保健部会等）で確認する。

開催

- 建設的な意見が出るように導く。
- 具体的に実践する内容を確認する。
- 協議内容や確認事項を広く広報し、協力を得る。

評価

- 運営内容や協議状況、その後の活動内容（方向性）等について、校内組織（保健部会）等で評価・検証する。
- 次回学校保健委員会開催に向けての評価を行う。



やってみよう！ こんな学校保健委員会

専門医との 連携

木津川市立南加茂台小学校

専門医による講演会を取り入れた学校保健委員会

毎年テーマを絞り、教職員、保護者、学校三師が参加し講演会を実施しています。「けがをしないコツ」と題して整形外科医による講演を行いました。股関節の柔軟性を高めることや、運動前のストレッチの重要性について実技を交えて興味深く学ぶことができました。（11月実施）



PTAとの 連携

長岡京市立長岡第九小学校

PTA教育講演会として実施した学校保健委員会

学校保健委員会を年に2回実施しており、2回目はPTA事業と連携し、教育講演会として実施しています。参観日と日程を合わせ、多くの保護者に参加していただいています。

教育支援センター相談員による講演を行い、子どもの発達と親子関係について学ぶことができました。

また、専門医派遣事業を活用し、専門医による講演も行っています。

（7月・1月実施）



学校三師の 活用

綾部市立綾部小学校

学校三師による講演会を取り入れた学校保健委員会

学校保健委員会を年2回実施しています。第1回は健康診断の結果、保健室来室状況、生活アンケートの結果、新体力テストの結果等を報告し、学校医の先生方から、助言をいただいています。

その中で明らかになった児童の健康課題について、2回目の学校保健委員会で講演をしていただいています。う歯が多い実態から、歯・口の健康づくりやフッ化物洗口について学校歯科医から講演をしていただきました。保護者が直接、学校歯科医から話を聞く機会となり、大変好評でした。（10月・2月実施）



児童主体で

宇治市立木幡小学校

児童集会として開催した学校保健委員会

児童の主体的な活動になること、教職員の共通理解を図ることを重視して、児童集会として学校保健委員会を開催しました。健康安全委員会の児童が主体となり、健康診断の結果を報告し、学校医の先生からお話を聞きました。4～6年生児童全員が参加しました。



健康安全委員会の児童は意欲的に活動して知識を深め、参加した児童は学校医から直接話を聞くことで健康に対する興味を高めることができました。（11月実施）